

あたま 市議会だより

第40号
令和元年
12月10日

P 2～8	令和元年9月定例会 質疑および一般質問（要旨）
P 8	議会のはてな？
P 9	可決された意見書・討論
P 10	令和元年9月定例会 議決結果
P 11	議決結果・各委員長報告
P 12	議会からの報告・お知らせ



令和元年9月定例会について

9月定例会は、9月4日から10月1日まで28日間の会期で開催し、議案15件、認定10件、報告1件、諮問1件、発議案2件について審議し原案のとおり可決等されました。

表紙写真：決算特別委員会

発行 熱海市議会 編集 議会だより編集委員会

〒413-8550 熱海市中央町1-1

TEL 0557-86-6644

FAX 0557-82-7287

E-mail gikai@city.atami.shizuoka.jp

※定例会の内容は、熱海市議会ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.city.atami.lg.jp/shigikai/index.html>



たなかひでたか
田中秀宝 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊
◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会
(副委員長)

水道法の改正について 熱海市の市民及び外部に対する情報提供について

質問 水道法の改正により、国は都道府県に対し、広域化に対するプランの策定を要請しているが、静岡県は策定を進めているのか。広域プランが策定されると、駿豆水道の継続撤退の検討に影響は出ないか。

答弁 静岡県はプラン策定に向け、市町に対しヒアリングを行っている。本市も8月に県とのヒアリングを行った。広域化プランは、施設共有などのハード面のみならず、

料金システムなどのソフト面での連携も議論されている。本市の地形や施設の現状などを考慮すると、ソフト面での広域化が効果的であり、今後の駿豆水道の判断には影響が出ないと考えている。

質問 本市は広報誌を通して、様々な情報を提供しているが、うまく機能していない。その一つに本市が独自で販売している熱海プレミアム付商品券の交付申請が、予定より大きく下回っているが、

プレミアム付商品券の申請が少ない要因は何か。
答弁 全国一律で行われる事業であり、システム構築等を請け負う事業者へ委託が集中したこともあり、本市においても当初のスケジュールどおりに準備が進められず、さらにプレミアム付商品券使用店舗に対する情報提供が不徹底であったと考えている。引き続き周知に努め、市内経済に貢献できるように取り組んでいきたい。

プレミアム付商品券使用店舗に対する情報提供が不徹底であったと考えている。引き続き周知に努め、市内経済に貢献できるように取り組んでいきたい。

地域の担い手不足問題について

(仮称) 振り込め詐欺防止条例制定で市民を守ることはできないか

動物殺処分削減のための取り組みについて

質問 町内会推薦の各種委員や祭典準備の人手を確保できない等の声を聞くが、町内編成を含め本市の考えは。

答弁 町内会加入者の減少や担い手不足により規模が小さな町内会では活動の継続が危ぶまれるところや、実質地域住民の交流活動は行っていないところもあると伺っている。今後予想される町内会の統合についても、当該町内会及び近隣町内会とともに、地域課題を踏まえ、十分な検討を重ね、最適な方法を見出したい。

質問 (仮称) 振り込め詐欺防止条例制定で市民を守ることはできないか。

答弁 本市には、熱海市市民安全条例があり、この条例に基づき、市民の生活に関連する防犯、防災、交通安全等へ取り組みが多種

な形で進められているものと思う。

質問 猫殺処分削減のため※TNRの取り組みは適正か。※TNRや子猫の里親探しは大変。動物愛護推進員やボランティアへの更なる支援は。

答弁 ※TNRの実施は、町内会に、その必要性を十分に説明したうえで理解を求め適正に対応している。昨今、相談件数が増え、今後は町内会以外の個人への助成も含め、できる限りの見直しをする。動物愛護推進員、ボランティアの活躍は目を見張るものがあり、動物愛護政策を推進していくためには、必要不可欠であり、何らかの支援は必要であると認識している。



はしもとかずみ
橋本一実 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(副委員長)
広域行政推進特別委員会

※ ___で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。



むらやまけんぞう
村山 憲三 議員

熱海市政調査会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

熱海国際映画祭について

上宿町市有地について

熱海市では児童虐待やイジメの問題は起きているか

質問 市長はこれまで

での反省を踏まえ、熱海国際映画祭に関する熱海市の汚名返上、失地回復を目指し市民が望む形で第3回以降の映画祭以上の、例えば国際アニメフェスティバルのような国際的なイベント等の提案に対してどのように考えるか。

答弁 国際アニメ

フェスティバルのような国際的なイベント等の提案への対応については、熱海国際映画祭に係る第三者委員会の

調査結果を踏まえ、類

似の興行的なイベント等に対する関わり方について改めて検討していきたいと考えている。

質問 遅々として進

まない（仮称）熱海フォーラム整備事業。旧岡本ホテル跡地は何を目的に購入したのか。

答弁 市役所に隣

接する上宿町市有地は、市の中心部に位置し、市役所と一体的な活用が見込めることから、市民が集い、熱海の歴史・文化が感じられる空間を創出したい

との考えのもと購入した

もの。

質問 本市では児童

虐待やイジメに関する問題は起きているか。

答弁 昨年度、児童

虐待がある、もしくは恐れがあるとして対応又は見守りを行っているのは24ケース。いじめを認知した件数は、小学校28件、中学校24件。認知後にいじめが解消したものは小学校11件、中学校15件。

部長会議について 自治体の持続可能性について

質問 部長会議は「最高の意思決定機関」に相応しい議論がされているか。

答弁 指示連絡事項、情報共有や業務等の連絡調整、市政の重要案件について議論されているが、全てにおいて議論されていない側面もあり、改善は必要と認識している。

質問 部長会議はどのようにあるべきか。

答弁 縦割りにとらわれず様々な視点から活発に意見を出し合うことが必要。今後いっそう部長会議の活性化が図られるよう、積極的に部長会議の参加者に意見を求めていくとともに、出席者には自覚と高い意識をもって会議に臨むよう指導していきたい。

質問 本市は持続可能な自治体と言われている。

そのような中では、国の施策に乗っかっているだけでは持続可能な自治体からは絶対に抜け出せない。過去の本市の職員は、政策立案能力を高めて別荘税を作った。固定資産税の熱海方式も知恵を絞り考えた。理事者一人ひとりが、どうしたらこの街が生き残るか真剣に考えてもらいたい。部長会議で議論すべき。

答弁 持続可能性に対して日本には明確な答えはない。前向きに新しい事を、ここから作り出す気持ちで全職員が持たなくてはならない。部長会議については、話しやすい環境を作る努力をし、職員のモチベーションを上げていく責務が、長としてあると考える。



すぎやまとしかつ
杉山 利勝 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(副委員長)
公共施設整備等特別委員会



こさかさちえ 小坂幸枝 議員

日本共産党

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会

防災についてー 新しい警戒レベルと避難行動

【質問】 先日の台風15号の時、市内全域に「警戒レベル3」と「警戒レベル4」が発令された。市内9か所に避難所が設置されたが、その時の関係者の動きと今回の避難者数について伺う。また、避難所になる体育館には常設のエアコンが望ましい。国の補助が受けられるこの時期に設置を踏み切るよう要望する。

【答弁】 市内では大きな被害が予想されることから、9月8日午後

4時、市職員の避難地班員により9か所の避難所開設完了。午後4時10分「警戒レベル3」発令、避難準備・高齢者等避難開始情報。午後11時40分、本市に「土砂災害警戒情報」。9日午前0時「警戒レベル4」発令、避難勧告。避難所運営委員は、

自主防災会・避難地班員・学校職員等で構成。今回の避難人数は9か所合計、最大時で30名。各学校の体育館については、平時の維持管理や災害時の大規模停電

などを考慮すると、スポットクーラーのレンタルが現実的。酷暑時には普通教室を使用できるように調整を進める必要がある。

【質問】 高齢者・障がい者・乳幼児を連れた方などの避難を支援する体制はどうなっているか。

【答弁】 避難行動要支援者は、各自自主防災会単位で、普段から台帳により該当者を把握して、必要により共助で避難を支援する。

「終活支援事業あんしん」について

【質問】 本市が直面する大きな課題の一つが、身寄りのない方の生活をいかに支えるかということ。今年の4月1日時点で、「高齢者ひとり暮らし世帯」は6,322世帯。これは高齢者のいる世帯の50%を超えており、全国的にも独居の高齢者の割合が極めて高い状況になっている。身寄りのない方が多い本市では、単身高齢者でも人生の最後まで安心して暮らせる環境を作るべき。本市では、8月に他市町に先駆けて課題に対処し、「終活支援事業あんしん」を立ち上げたが、この目的は。



たかはし ゆきお 高橋幸雄 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(副委員長)

もの。終末期に対する不安を緩和し、安心して老後を過ごしていただくことを目的としている。

【質問】 事業の対象者を「身寄りのない方」に限定せず柔軟に対応すべきでは。様々な事情に対応できるように対象者を柔軟に考えている。65歳以上の「単身」かつ「身寄りのない方」を原則としつつ、実質的にそれと同一ような状況の方、例えば別居の子どもがいるが関係性からして葬祭の手配を期待しづらい状況にある方は利用できるようにしている。

【要望】 温泉観光地熱海には、様々な背景を持つ方々が住んでいる。ぜひ、柔軟に対応する方針で丁寧な相談を心掛けるよう要望する。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質 疑 一 般 質 問



ごとうゆういち
後藤雄一 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

未婚シングルマザーに対する支援について 熱海市ホームページについて

質問 シングルマザーが就労につながるようなスキルアップのための支援や制度にはどのようなものがあるのか。

答弁 指定の職業能力開発講座を受講した場合に、給付金を支給する「母子家庭及び父子家庭自立支援教育訓練給付金」及び就職に有利な資格取得のため、養成機関における受講に際し給付金を支給する「母子家庭及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」制度がある。

質問 本市のよりよいホームページを作るうえで、今後学習機能のあるAI技術を活用し、発信力増強、市民サービスの拡充に努めることはできないか。

答弁 AIは学習能力があるので、言葉やキーワードから想定した情報を探したり、関連情報などを提示し、利用者に対して能動的と考える。また、AIにより職員が直接対応しなくてすむ部分について、省力化となる可能性がある。本市の

ホームページは、5年ごとに契約を更新し、システム等の見直しを行っているので、次期システムの導入の際にはAIなどの先進事例などを確認しながら、より使いやすいシステムの導入を目指す。



下水道事業について 大規模な太陽光発電所について

質問 南熱海地区の下水道事業は莫大な初期投資83億4,800万円を投入し、その後も年間の下水道使用料より多い面整備を毎年行っているが、人口減少や節水対策が続くなか、接続率は大変低く、平成29年度15・6%、平成30年度21・4%、伊豆山地区は接続可能件数13件で0%。面整備を毎年続けて大丈夫か。将来、大変重い負担になる。今後、面整備を進める場合は、接続率が60%を超える場合のみのルールを作るべきではないか。

質問 伊東市や函南町では、大規模太陽光発電所建

設計画をめぐり、地域住民が反対運動を展開している上多賀地区で、山林約1万坪を開発し、太陽光パネルを設置する計画がある。本市は大規模な開発に対し、どのような取り組みをしてきたか。

質問 本市は条例をつくり、事業を廃止したときは発電設備を速やかに撤去するとともに、元の森林を再生するような条例制定を。

答弁 事業廃止時は、速やかに元の自然に戻す現状復帰を求めたい。



いなむらちひろ
稲村千尋 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会



あか お こう いち
赤尾光一 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
広域行政推進特別委員会

空家対策について

自治体※SDGsについて

質問 多くある空家を住居用として※リノベーションしていく必要もあるのでは。本市としてもっと積極的に持ち主に対して交渉をしていくべきではないか。

答弁 ※リノベーションを行い、若年層の働き世代の移住、定住の用に有効な手法であると考えているので、空家の所有者との話し合いの中で、利活用の方法についても積極的に情報提供を行っていききたい。

質問 空家問題に対する専門の課を設立し、

質問 各地方自治体へも※SDGsを取り組むように要請がくる

質問 第5次熱海市総合計画に掲げる目標に※SDGsの開発目標を関連づけ、概念を反映させていきたい。

質問 しっかりと対応しているかねばならないと思うがいかがか。

答弁 他業務との兼務では空家への個別的な対応に限界があると感じている。不動産登記や税情報から得られた情報の裏付け作業や相続人の特定、さらには関係者との協議には多くの時間と労力が必要であり、また空家の数が増加することが事実であることから、空家対策の推進には体制の強化が必要。

答弁 2030年までに達成すべき目標である※SDGsを、本市の地域課題に落とし込み、問題点を共有したうえで目標を立て、実現に取り組んでいく必要があると考える。

質問 第5次熱海市総合計画に掲げる目標に※SDGsを取り入れて策定できないか。

答弁 第5次熱海市総合計画に掲げる目標に※SDGsの開発目標を関連づけ、概念を反映させていきたい。

(仮称) 熱海フォーラム整備事業について
多賀中学校プール整備事業について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。

質問 依然として進展が見られず、中止になるのかとの声も聞かれるが、中止もあり得るのか。

答弁 施政方針で申し上げたとおり実現すべく努めていく。

質問 これまでに目に見える形で施設を示してこなかったために半信半疑になっているし、それもなしに市民に問いかけても判断ができない。たたき台でも良いので何パターンか図面やパースなどを示してほしい。

答弁 目に見える形で示せるよう努力する。

質問 次年度以降予算計上などもされると思うが今後のスケジュールは。

答弁 令和4年度の着工に向け、令和2年度に機能・規模・整備手法などを決定し概算の設計、令和3

年度には実施設計と考えている。

質問 泉中学校プール整備についての経緯は。

答弁 現在の校舎建設の際に地元要望を受け設置した。

質問 学校のプールの必要性について本市の認識は。

答弁 小学校から中学校まで可能な限り実施できればと考えている。

質問 多賀小学校では授業が4時限と少ない。可能な限り水泳の授業を実施するならプールの設置も必要が地元やPTAなどから要望があった場合は検討するか。

答弁 地元要望等を受けた際には、諸課題を整理したうえで、整備に関して検討を進めていきたい。

質 疑 一 般 質 問



よねやまひでお
米山秀夫 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

ふるさと納税について 空家・空地対策について

質問 子どもたちの情操教育及びグローバル教育の充実のために、ふるさと納税の活用希望区分に具体的な項目を追加できないか。

回答 現在、ふるさと納税の活用先としては、大きな概念となっていて、寄付金の充當に関して充當しやすいという一面がある一方、寄付者の方々の意思の反映という面においては、漠然としているものとも言える。そこで、提案のような活用先の明確化は、寄付者の納得感の向上につながるものと考えられること



質問 情報の有効活用がされて空家空地の再生利活用が進むのか。また取り組みの進展を図るために、外部提供を考えないのかなど、前向きな取り組みを今後していくつもりはあるのか。

回答 情報が有効活用されることにより、不動産業者やリフォーム業者との連携や、住宅耐震助成事業や空家等除却費補助事業等各种補助制度の活用が進むと期待される。また、外部提供については、以前は宅建協会等からの要請に応えることができなかった所有者等の情報についても、個人情報保護の有用性を確保しつつ、協定を締結している静岡県県宅建協会等への情報提供を行っていきたいと考えている。

停電情報等の広報について 網代測候所跡地について 漁礁の整備について



かわぐち たけし
川口 健 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆

観光建設公営企業委員会
(委員長)
広域行政推進特別委員会

質問 台風15号での鉄道の情報について。

回答 観光客に情報が伝達できると考えられる方々に電話で計画運休の予定を伝え、午後4時40分に同報無線により放送した。

質問 台風15号での停電発生状況と当局の対応は。

回答 停電は最大で約4,100軒。完全復旧は10日夜。メールマガジンと熱海市ホームページで停電情報を流し、停電している地域の町内会長等に電話連絡した。また9日夜から給水活動を実施。

要望 精度の高い情報を集め整理して広報する等、様々な方策で柔軟に周知できるように強く要望する。

質問 跡地を水道配水池にしたい理由とその規模、また残地は。

回答 網代に第1配水池と第2配水池があるが老朽

化している。2つの配水池を廃止し当該地に統合したい。規模600トンの配水池、敷地面積450㎡で平地すべてを使用。残地は2,400㎡で法面が大部分。残平地は約500㎡。

要望 配水池整備は理解。この話は地元住民の要望から始まった。残地を公園、一時避難場所として整備するように要望する。

質問 新たに漁礁にもなる沈船はどうか。

回答 熱海港沖の沈船は、水深30メートルダイビングスポットとして人気。これに代わる沈船があれば効果はある。沈船が漁礁として機能すれば、水揚げが上がり「食」の魅力づくりに有効。漁業関係者の理解と、沈める船の調達や適切な処置、沈める作業には多額の費用を要するので、慎重に検討する。



やま だ はる お
山田治雄 議員

熱海市民クラブ

◆ 所属委員会 ◆

総務福祉教育委員会
公共施設整備等特別委員会
(委員長)

総合計画の策定には市民の参加と意見を
教職員の※働き方改革は本当に進んでいるのか

【質問】 総合計画策定
を行政主体で、いかに
も夢のような計画を策
定するのは過去の話。

意識アンケートも併せ
て実施する。二つ目は、
市内の全中学生を対象
のアンケートを行う。

今一番大切な事は、そ
こに住まい、集う人々
を基盤にしたもの、即
ち住民の声を結集した
ものとならなくてはな
らない。まず、住民参
加を求め、住民の声や
意見をどのように聴く
のか。

次世代を担う中学生に
も本市の将来都市像に
興味を持ってもらい意
見を聴取する。幅広い
年代の市民の方からの
声に耳を傾けながら策
定していきたい。

の位改善されたかで明
らか。過労死ラインを
超えたような労働時間
の教職員の数は、従前
に比べどの位減ったの
か。

【質問】 従前の策定プ
ロセスに加え、新たに
2つの意見聴取プロセ
スを設ける。一つ目は、
市民会議の開催。市民

【質問】 教職員の過重
な労働時間の改革が※
働き方改革の名で進め
られているが、具体的
にどのようなになってい
るのか。※働き方改革
の成果は労働時間がど

【回答】 従前の策定プ
ロセスに加え、新たに
2つの意見聴取プロセ
スを設ける。一つ目は、
市民会議の開催。市民

【回答】 労働時間につ
いては、平成29年度で
は、過労死ラインと呼
ばれる月80時間以上の
割合は小学校で10%、
中学校で21%だったが、
平成30年度では小学校
で8%、中学校で18%
と減少した。

【回答】 労働時間につ
いては、平成29年度で
は、過労死ラインと呼
ばれる月80時間以上の
割合は小学校で10%、
中学校で21%だったが、
平成30年度では小学校
で8%、中学校で18%
と減少した。

議 会 の は て な ?

質疑・一般質問の用語説明



各議員の質疑・一般質問記事の中で※で表記さ
れている言葉についての説明です。

P2 TNR

地域猫活動とも言われ、猫の繁殖を抑え、これ以
上不幸な猫を増やさない目的のための活動。捕獲
(Trap)し、不妊手術(Neuter)をし、
元の場所に戻す(Return)活動の頭文字。

P6 リノベーション

既存の建物に大規模な改修工事を行い、用途や機
能を変更して性能を向上させたり、付加価値を与え
て、より良く作り替えること。

P6 SDGs

「持続可能な開発目標」のこと。2015年9
月の国連サミットで採択された2016年から
2030年までの国際目標をいう。

P8 働き方改革

「一億総活躍社会」を実現するための改革であ
り、少子高齢化が進むなか、労働力不足解消のため
の取り組みをいう。

可

決

された

意

見書

(要約)

意見書とは…市政の発展や市民生活の向上のために実現してほしい事柄について、市議会の意思として国会や関係行政機関に提出する文書のことです。

地震財特法の延長に関する意見書（発議案第5号）

東海地震に備えて、地震防災対策強化地域である本市は、静岡県が作成した地震対策緊急整備事業計画に基づき、各般にわたる地震対策を鋭意講じているところである。この計画は令和元年度末で期限切れを迎えるが、東海地震による災害から地域住民の安全を確保するためには、地震対策緊急整備事業計画の充実と期間の延長を図り、事業を迅速かつ的確に実施することで地震対策の一層の充実に努めていかなければならない。

国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」を延長するように強く要望する。

提出先：衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣・農林水産大臣・国土交通大臣・内閣府特命担当大臣（防災）・消防庁長官・林野庁長官・水産庁長官

討

論

討論とは…議会の会議において、表決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明すること。

議案第48号 令和元年度熱海市一般会計補正予算（第2号）

反 対

村山憲三議員

熱海国際映画祭について、行政が関与するイベント事業の開催にあたり反省の弁があったにも関わらず映画祭を強行し税金を投入しようとするをふまえ、熱海国際映画祭に関連する補正予算計上は認めることはできない。

反 対

米山秀夫議員

熱海国際映画祭について、市民に何の利益も及ばない第三者委員会の経費を計上された補正予算には反対する。

賛 成

山田治雄議員

「災害復旧に要する経費」等、早急に本市が実施、対応すべき事業や施策に要する費用であり、特に「国の幼保無償化制度の開始に対応するための経費」については、子育て世代に大きな影響を与え、市の対応について時間的にも待ったなしの状況。必要な措置として認める。

認定第1号 決算認定について（平成30年度熱海市一般会計決算）

反 対

米山秀夫議員

熱海国際映画祭実行委員会負担金について、本市が映画祭実行委員会に対して支出した負担金は不適切であったと批判し、決算認定について反対する。

9月定例会 議決結果（本会議）

〈市長提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
議案第48号 令和元年度熱海市一般会計補正予算(第2号)	可決(多数)	議案第62号 未処分利益剰余金の処分について(平成30年度熱海市温泉事業会計)	可決(全員)
議案第49号 令和元年度熱海市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員)	認定第1号 決算認定について(平成30年度熱海市一般会計決算)	認定(多数)
議案第50号 令和元年度熱海市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第2号 決算認定について(平成30年度熱海市国民健康保険事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第51号 令和元年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員)	認定第3号 決算認定について(平成30年度熱海市駐車場事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第52号 熱海市会計年度任用職員の給与等に関する条例	可決(全員)	認定第4号 決算認定について(平成30年度熱海市離島初島簡易水道事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第53号 熱海市印鑑条例の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第5号 決算認定について(平成30年度熱海市介護保険事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第54号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決(全員)	認定第6号 決算認定について(平成30年度熱海市初島漁業集落排水処理事業特別会計決算)	認定(全員)
議案第55号 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決(全員)	認定第7号 決算認定について(平成30年度熱海市後期高齢者医療事業特別会計決算)	認定(多数)
議案第56号 熱海市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例等の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第8号 決算認定について(平成30年度熱海市水道事業会計決算)	認定(多数)
議案第57号 熱海市消防手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員)	認定第9号 決算認定について(平成30年度熱海市下水道事業会計決算)	認定(全員)
議案第58号 工事請負契約の一部を変更する契約の締結について((仮称)あたま認定こども園改修工事(その2)に係る増額変更)	可決(全員)	認定第10号 決算認定について(平成30年度熱海市温泉事業会計決算)	認定(全員)
議案第59号 財産の取得について(高規格救急自動車(救急1号車))	可決(全員)	報告第10号 平成30年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告
議案第60号 未処分利益剰余金の処分について(平成30年度熱海市水道事業会計)	可決(全員)	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし(全員)
議案第61号 未処分利益剰余金の処分について(平成30年度熱海市下水道事業会計)	可決(全員)		

〈議員提出の議案等〉

件名	議決結果	件名	議決結果
発議案第4号 特別委員会の設置について	可決(全員)	発議案第5号 地震財特法の延長に関する意見書	可決(全員)

9月定例会 賛成・反対が分かれた議案等（本会議）

議員名・会派名 議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決結果
	山田治雄 市民ク	橋本一実 市民ク	小坂幸枝 共産	村山憲三 市政調	後藤雄一 梁山泊	米山秀夫 梁山泊	泉明寺みずほ 梁山泊	田中秀宝 梁山泊	赤尾光一 成風	越村修 成風	竹部隆 成風	川口健 成風	杉山利勝 成風	高橋幸雄 成風	稲村千尋 成風	
議案第48号	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	可
認定第1号	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	-	○	○	○	○	認
認定第2号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	認
認定第5号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	認
認定第7号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	認
認定第8号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	認

議長（11番 竹部隆）は採決に加わりませんので、「-」で表示してあります。可否同数の場合は、議長裁決になります。

議決結果 可=原案可決 認=原案認定 採決結果 ○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席（遅刻、早退を含む。）

会派名 成風=熱海成風会 梁山泊=自民党・公明党・女性の会 熱海梁山泊 市民ク=熱海市民クラブ 市政調=熱海市政調査会

共産=日本共産党

委員長報告

●観光建設公営企業委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第48号	可決（可否同数） ※委員長裁決	熱海国際映画祭に関して訴訟費用の内容について質疑や、第三者委員会の結果を踏まえ、今後どのような対応をする考えなのか等、厳しい意見が出されたが、必要な措置と認める。
議案第60号 議案第62号 議案第61号	可決（全会一致）	熱海市水道事業会計・下水道事業会計・温泉事業会計について、未処分利益剰余金を処分するものであり、必要な措置と認める。

●総務福祉教育委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
議案第48号	可決（賛成多数）	熱海国際映画祭に係る第三者委員会に要する経費や国の幼保等無償化に伴う経費等、補正予算に対する様々な意見がなされたが、必要な措置と認める。
議案第49号 議案第55号 議案第50号 議案第56号 議案第51号 議案第57号 議案第52号 議案第58号 議案第53号 議案第59号 議案第54号	可決（全会一致）	熱海市印鑑条例の一部を改正する条例について、住民基本台帳法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、住民票の記載事項に特例として旧氏が加えられたこと等から、所要の改正をしようとするものなど、他の付託議案とともに必要な措置と認める。

●決算特別委員会

付託議案	審査結果	報告要旨
認定第1号 認定第7号 認定第2号 認定第8号 認定第5号	認定（賛成多数）	熱海国際映画祭や国民健康保険に関してなどの、各種施策に対し様々な意見が出された。また、予算の執行率についても様々な指摘や意見が出されたが、適正なものと認める。
認定第3号 認定第9号 認定第4号 認定第10号 認定第6号	認定（全会一致）	適正なものと認める。

●観光建設公営企業委員会 行政調査報告

委員会が実施した先進地への行政調査について、委員が報告いたします。

調査先および調査内容

調査日程 令和元年10月8日～10日

〈北海道小樽市〉おたる案内人ジュニア育成プログラムについて/小樽港クルーズ推進事業について



小樽市役所にて

小樽市では、平成23年度より市内の小学校5・6年生を対象に観光ガイド「おたる案内人」が地域の歴史、文化などを伝え観光ガイドを実践させる、観光人材育成の取り組みを行っている。具体的には小学校の総合教育の時間に、「おたる案内人ジュニア育成プログラム」を取り入れ、小樽の歴史、文化等幅広い知識を学び、質の高い観光客のニーズに対応するもの。歴史的背景は異なるが、本市においても観光地としての歴史や文化がたくさんあり、小学校等の総合授業に本市の歴史・文化への教育を取り入れ「市民から市民へ地元の歴史を伝えていく」循環型の新たな仕組みを目指し、更なる観光客の増加を図りたい。

〈北海道札幌市〉札幌駅前通地区のエリアマネジメントについて

札幌駅前通地区では、札幌駅前通まちづくり株式会社が札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）や札幌駅前北3条広場（アカプラ）を指定管理者として管理・活用し、各種イベント、北海道の食や観光の促進、商業プロモーションや、地下通路壁面を使った商業広告などを展開し、広場を利用した賑わいの促進や、広場を利用したまちづくり財源の創出を行い、まちづくりに寄与している。本市においても、規模に違いがあるものの、民間活力を取り入れたエリアマネジメントについても考えていく良い契機となった。



札幌駅前通まちづくり株式会社にて

次回

熱海市議会
令和元年11月
定例会



主な日程

11月27日(水)	10:00～	本会議（議案上程）
12月10日(火)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
12月11日(水)	10:00～	本会議（質疑・一般質問）
12月12日(木)	10:00～	観光建設公営企業委員会
	13:00～	広域行政推進特別委員会
12月13日(金)	10:00～	総務福祉教育委員会
12月17日(火)	10:00～	本会議（審議採決）

※日程は変更になる場合がございます。

議会を傍聴 しませんか？

熱海市議会では、本会議や委員会の傍聴を受け付けています。

手続きは簡単ですので、お気軽にお越しください。

●本会議

本会議の当日に【市役所第3庁舎3階エレベーター横】の傍聴受付までお越しください。傍聴券を発行します。

●委員会

各委員会の当日に【市役所第3庁舎2階議会事務局】までお越しください。



次回の市議会だよりは、2月10日発行予定です。

＜議会だより編集委員会＞ 委員長：越村 修 副委員長：橋本 一実
委員：赤尾 光一・後藤 雄一・小坂 幸枝